

## 福岡県における「ふくしまの今」の発信事業 仕様書

### 1 事業の目的

九州地方の大都市である福岡市等がある福岡県において、九州地方の若年層を中心とした幅広い層を対象として、本件の今を広く正確に知ってもらうための視察ツアーを企画、催行し、得た学び等の発信を駅、広場、大型商業施設等において、観光PRや県産品の販売、移住定住相談、ふくしま体験や日本酒の試飲などと併せて実施する。また、各種メディアやSNS等を通じて継続的に情報発信するなど、幅広い年代の方々に「ふくしまの今」を見て・聞いて・体験して・学んでもらう複合的な発信の場を提供することで風評の払拭、風化の防止につなげることを目的とする。

### 2 事業名

福岡県における「ふくしまの今」の発信事業

### 3 委託業務内容

#### (1) 視察ツアーの企画及び催行

##### ア 対象者

九州地方の若年層を中心とした幅広い層

##### イ 実施内容

- (ア) 本県の今を広く正確に知ってもらうための視察ツアーの企画及び催行とする
- (イ) 行程は2泊3日の福島県内視察ツアー（1回）とする
- (ウ) 実施時期及び日程は連続する3日間とし、日程は委託契約後に県との調整のもとで決定するが(2)開催前には催行すること
- (エ) コースは以下の事項を踏まえるとともに、本県の現状や復興が進んだ姿、新たな産業等の振興にチャレンジする姿、食と観光の魅力などを伝えるコースを提案することとし、コースは委託契約後に県との調整のもとで決定する
  - ・「その土地の魅力・文化を情報発信できる観光地・文化施設等」及び「震災復興の状況や復興に向けて進む本県の取組を情報発信できる箇所・施設等（東日本大震災・原子力災害伝承館等）」を必ず組み込み、参加者が情報発信することを前提としたコースとすること
  - ・入館料等が必要な場合は、その費用を見込むこと
  - ・各コースを訪問する際、当該市町村へアテンド及び説明を依頼する等、市町村と連携すること
- (オ) 全行程の移動の手配
  - 全行程に対して移動手段の手配を行うこと
  - なお、有料道路や駐車場代等の費用も含めること

- (カ) 参加者の移動の手配
  - 参加者の居住地とツアー出発地・到着地までの往復の移動手段を手配すること（提案時においては、福岡駅を出発、帰着の基準地点として積算を行うこと）
  - 移動手段は鉄道、航空機、バス等を活用し、安全性、移動の確実性、参加者の身体的負担等を考慮し、効率的な手段とすること
- (キ) 食事の手配
  - 食事内容も情報発信の一つであるため、県産品や郷土料理などの提供を提案すること
  - なお、昼食においては観光地などで自由に食事をすることも可能とするが、参加者には訪問地ならではの食事内容を選定するよう配慮すること
- (ク) 参加者へのアンケート
  - 本事業及び類似の目的を持つ事業の参考とするため、参加者へツアー及び当県への印象や視察施設への評価等に対するアンケートを実施し、集計・分析すること
- (ケ) 国内旅行保険の加入
  - ツアーの参加者を国内旅行保険（傷害保険）に加入させること
  - なお、委託事業者が選定する保険のうち、傷害死亡・後遺障害、傷害医療費用、個人賠償責任、携行品損害、救援者費用の保証を含むものとし、その保険が一般的に勧められているプランとする
- (コ) 情報発信資材の作成及び活用
  - 視察ツアーの結果、得た学びや観光情報等について参加者の意見等を取りまとめ、(2)に記載の情報発信イベント等への活用を前提にした動画やパネル等の様々な媒体による情報発信資材の作成を行い、ツアーで得た学びや「ふくしまの今」について来場者へ還元、浸透を図ること
- (2) 情報発信イベントの開催
  - ア 開催場所
    - 福岡県内において、集客力の高い施設等
  - イ 開催回数及び期間
    - 受託者から提案し、県と協議した上で決定する
  - ウ 実施内容
    - (ア) 本県の正確な情報を学べる企画とすること
    - (イ) 県産品の販売を実施すること
      - なお、県産品にあっては時節の旬の青果物等を活用すること
    - (ウ) 観光等に関する情報発信を実施すること
    - (エ) ふくしまへの興味を引き出す体験型プログラムを実施すること
    - (オ) ふくしまの酒の魅力を伝える内容を盛り込むこと

(カ) 福島県内市町村との連携（3市町村以上の共同出展等）を図ることとし、市町村が出展する際の往復の旅費及びブース出展料を費用に見込むこと

(キ) クイズラリー等を実施し、来場者に対して「ふくしまの今」の理解促進を図ること

#### エ 目標集客数

効率的かつ効果的に集客を行うための具体策を提案の上で、開催時期中の来場者延べ5,000人以上を成果目標とする

#### (3) 広報及び普及啓発

各種メディアやSNS等を通じて若年層を中心とした幅広い年代の方々にイベント情報をはじめとした「ふくしまの今」の情報をSNSキャンペーンやメールマガジン等を活用して継続的に発信し、福島県との関係性の強化を図ること

#### (4) 上記に係る業務管理

企画立案、連絡調整、スケジュール管理

#### (5) 報告書の作成

上記に関して、効果測定を含めた報告書を作成すること

## 4 その他

なお、本事業は福島再生加速化交付金を活用することから、下記に留意すること。

(1) 可能な限り福島県内事業者を利用すること

(2) 一般管理費を計上する場合は上限を10%とすること

(3) 本事業の全部または一部を再委託する場合の一般管理費については、事業費における再委託率50%までを一般管理費に計上することを認める

<積算例>事業費100万円の内再委託費70万円の場合、再委託費の内50万円まで

(直営費30万円+再委託費50万円)×一般管理費10%=8万円